

新規作成 : 2013年12月18日  
改訂日 : 2016年 6月 1日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 MFC-12 N-2R (三菱カラーネガフィルム用漂白補充液)  
会社情報 会社名 : 三菱製紙株式会社  
住所 : 〒130-0026 東京都墨田区両国2丁目10番14号  
担当部門 : 技術環境部  
問い合わせ窓口 : イメージング事業部 IJ・Fト営業部 (電話番号03-5600-1508)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

##### 物理化学的危険性

金属腐食性物質 : 区分1

##### 健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 区分外

皮膚腐食性/刺激性 : 区分外

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2

\*危険/有害性の大きさ (区分) は、数字の小さいほど危険性/有害性が高い。

\*記載のないものは、分類対象外または分類できない。

#### ラベル要素

##### 絵表示



腐食性

感嘆符

##### 注意喚起語

警告

##### 危険有害性情報

金属腐食のおそれ (区分1)  
強い眼刺激 (区分2)

##### 注意書き

#### 【予防策】

他の容器に移し替えないこと。保護眼鏡/保護面を着用すること。  
取扱い後はよく手を洗うこと。

#### 【対応】

物的被害を防止するため流出したものを吸収すること。

眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して  
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼  
の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

#### 【保管】

耐腐食性容器/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

### 3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
一般名 : 漂白補充液

成分及び含有量		化審法	CAS No.	含有量%
PDTA鉄アンモニウム	*	(2)-3595	111687-36-6	7-15
臭化アンモニウム		(1)-106	12124-97-9	5-10
硝酸アンモニウム	*	(1)-395	6484-52-2	5-10
酢酸	*	(2)-688	64-19-7	1-5
酢酸アンモニウム		(1)-391	631-61-8	1-5
水		対象外	7732-18-5	60-80

\* : 安衛法通知対象物質

4. 応急措置
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸し易い姿勢で休息させてください。医師に連絡してください。
  - 皮膚に付着した場合 : 皮膚を流水/シャワーで洗ってください。刺激が強まったり、続く場合には医師の手当てを受けてください。
  - 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗ってください。コンタクトレンズをしている場合は、可能なら外し、その後も洗浄を続けてください。眼の刺激が続く場合、眼科医の診断/手当てを受けてください。
  - 飲み込んだ場合 : 水で口の中を良く洗ったのち、気持ちが悪くようであれば医師の手当てを受けてください。
- 最も重要な徴候及び症状 : 眼及び粘膜の刺激  
 応急措置をする者の保護 : 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用してください。

5. 火災時の措置
- 消火剤 : 散水、炭酸ガス、粉末消火器、泡消火器等
  - 使ってはならない消火剤 : 通常の条件下では、不適切な消火剤はない。
  - 特定の消火方法 : 周辺火災の場合は、可能ならば速やかに容器を安全な場所に移してください。関係者以外は速やかに安全な場所に退去させてください。漏出した物質や消火用水等が、河川等に排出されないよう配慮してください。
  - 保護具等 : 消火の際は適切な保護具（自給式呼吸器具、及び完全保護具等）を着用してください。熱により成分が分解してCO<sub>x</sub>、NO<sub>x</sub>、アンモニアガスが発生する場合があります。風上から消火活動を行ってください。

6. 漏出時の措置
- 人体に対する注意事項 : 適切な保護具（保護眼鏡、保護手袋等）を着用して回収してください。
  - 保護具及び緊急時措置
  - 環境に対する注意事項 : 薬品が河川等に排出されないように注意してください。
  - 除去方法 : 漏洩した薬品を適切な方法で回収したのち、漏洩箇所を大量の水で洗い流してください。回収したものを廃棄の場合は関係法令に従ってください。

7. 取扱い及び保管上の注意
- 安全取扱い注意事項
  - 技術的対策 : 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにしてください。取扱い後に、手や顔等をよく洗ってください。
  - 局所排気・全体換気 : 作業場は換気を充分に行ってください。
  - 注意事項 : 作業後には、手、顔等をよく洗ってください。
  - 保管 : 直射日光を避け、涼しい場所に置いてください。十分な強度を有するプラスチック容器を使用してください。開封後は全量使い切ってください。子供の手の届くところには置かないでください。

8. 暴露防止及び保護措置
- 設備対策 : 換気扇による強制換気を行ってください。また、作業場の近くには手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗ってください。
  - 管理濃度 安衛法管理濃度 : 未設定
  - 許容濃度 日本産業衛生学会 : 酢酸 10ppm (最大許容濃度)、25mg/m<sup>3</sup>
  - ACGIH/TLV : 酢酸 10ppm (TWA)、15ppm (STEL)
  - 保護具 呼吸器 : 適切な呼吸用保護具
  - 手 : 不浸透性保護手袋
  - 眼 : 保護眼鏡、及び顔面保護具
  - 皮膚及び身体 : 保護衣

9. 物理的及び化学的性質
- |                |                 |        |              |
|----------------|-----------------|--------|--------------|
| 形状             | : 液体            | 色      | : 褐色         |
| 臭い             | : 酢酸臭           | pH     | : 3.65 (25℃) |
| 融点             | : データなし         | 沸点     | : >100℃      |
| 引火点            | : 引火性はない        | 自然発火温度 | : 通常の取扱いでは安定 |
| 燃焼又は爆発範囲       | : データなし (上限、下限) | 分解温度   | : データなし      |
| 蒸気圧            | : データなし         | 蒸気密度   | : データなし      |
| 比重             | : 1.15 (相対密度)   | 溶解度    | : 水に易溶       |
| n-オクタノール/水分配係数 | : データなし         |        |              |

10. 安定性及び反応性
- 安定性 : 通常の使用条件では安定である。
  - 反応性 : 特になし。
  - 避けるべき条件 : 直射日光、凍結
  - 混触危険物質 : 特になし。

危険有害な分解生成物 : アンモニア、窒素酸化物、一酸化炭素、炭酸ガス  
その他情報 : 金属を腐食する。

1 1. 有害性情報

急性毒性 : LD50 >2000mg/kg (ラット経口)  
皮膚腐食性/刺激性 : 無刺激  
紅斑スコア : 0  
浮腫スコア : 0  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 中等度の刺激性  
角膜混濁スコア : 0.7  
虹彩炎スコア : 0  
結膜発赤スコア : 2  
結膜浮腫 : 1.2  
呼吸器感受性又は皮膚感受性 : データなし  
発がん性 :

1 2. 環境影響情報

生態毒性 : データなし  
残留性・分解性 : データなし  
生体蓄積性 : データなし

1 3. 廃棄上の注意

自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上、産業廃棄物処分量の許可を受けた業者に産業廃棄物管理票（マニフェスト）を添えて、運搬、処理を委託してください。  
廃棄時に該当する法規【廃棄物処理法：産業廃棄物（廃酸）、水質汚濁防止法：生活環境項目、下水道法：下水の排除の制限】  
汚染容器・包材 : 内容物を完全に除去した後に処分してください。

1 4. 輸送上の注意

船舶輸送は危規則の規定に従ってください。航空輸送はIATA規則の規定に従ってください。  
国連番号 : UN1760  
国連分類 : クラス 8  
容器等級 : III  
緊急時応急措置指針番号 : 154

1 5. 適用法令

安衛法 (通知対象物質) : PDTA鉄アンモニウム、硝酸アンモニウム、酢酸  
(表示対象物質) : 硝酸アンモニウム  
化管法 : 非該当  
毒劇法 : 非該当  
消防法 : 非該当  
船安法 : その他の腐食性物質 (クラス 8)  
航空法 : その他の腐食性物質 (クラス 8)

1 6. その他の情報 (記載内容の問い合わせ先、引用文献等)

本シートの内容は発行時における知見に基づいて作成したものです。作成の目的は製品の安全に関わる情報を提供するものであって、性能・品質を保証するものではありません。記載事項は今後の知見により改訂されることもあります。記載内容の内、含有量・物理化学的性質などの値は保証値ではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点をご考慮願います。危険・有害性の情報は必ずしも充分でないので、取扱いには充分注意してください。本 SDS に記載のラベル要素は、実際の製品には表示されない場合があります。